

テニスのゲームのすすめかた

テニスのしあいは【ポイント】→【ゲーム】→【セット】→【マッチ】のじゅんにしんこうします。

● ポイント

ポイント	0	1	2	3	4
ひょうじ	0	15	30	40	G
よみかた	ラブ	フィフティーン	サーティー	フォーティー	ゲーム

● ポイントのかぞえかた

15-0	15-15	30-15	40-15	40-30	40-40	A	G
フィフティーン ラブ	フィフティーン オール	サーティー フィフティーン	フォーティー フィフティーン	フォーティー サーティー	デュース (Deuce)	アドバンテージ (Advantage)	ゲーム (Game)

- ・ さきに4ポイントをとったほうが「ゲーム」をかくとくします。
- ・ サーブをするほうからさきにかぞえます。
- ・ おたがいに3ポイントずつとってどうてんになったときは「40-40/デュース」となり、そのあと2ポイントさがつくまでゲームはおこなわれます。
「デュースの」のつぎのポイントをとると「アドバンテージ」となり、「アドバンテージ」をもっているほうが、つぎのポイントをとると「ゲーム」をかくとくします。

● セット

- ・ 1ゲームごとにサーブけんをこうたいし、2ゲームいじょうのさをつけてさきに6ゲームとるとセットのしょうしゃとなります。
- ※ 5-5になったばあいはさきに7ゲームとるとセットのしょうしゃとなる
- ※ 6-6になったばあいはおおくのたいかいでタイブレークがさいようされていて、タイブレークのしょうしゃが7-6でセットのしょうしゃ

● エンドのこうたい

- ・ かくセットできすらゲーム(だい1ゲーム、だい3ゲーム、だい5ゲーム…)がしゅうりょうしたらエンドをこうたいします(エンドチェンジ)。
- ・ タイブレークでは6ポイントごとにエンドをこうたいします。

● サービス

- ・ サーバーは、だい1ポイントはデュースサイド(コートみぎサイド)からサービスをおこない、だい2ポイントはアドバンテージサイド(コートひだりサイド)からサービスをこない、ゲームしゅうりょうまでこれをこうごとにおこないます。
- ・ サーバーは1ポイントにつき2きゅうサービスをうつことができます。1きゅうめのサービスを「ファーストサービス」、2きゅうめのサービスを「セカンドサービス」とよびます。2きゅうつづけてしっばいするとあいてのポイントとなります(ダブルフォルト)。

● コートのラインのよびかた

サイドライン(ダブルス)

サイドライン(シングルス)		(アレー)		ベ ー ス ラ イ ン
センター マーク	センターサービスライン		サー ビ ス ラ イ ン	

← テニスコートのたてのながさ(ベースラインからベースラインかん) : 23.77メートル →

テニスコートのよこのながさ : シングルス : 8.23メートル・ダブルス : 10.97メートル

(ダブルスコートはよこに2.74メートルひろく、そのひろくなつたぶぶんを「アレー」とよぶ)

- ・ **ベースライン**
コートのたてほうこうのりょうはしをむすぶライン
 - ・ **サイドライン**
コートのよこほうこうのりょうはしをむすぶライン
 - ・ **サービスライン**
ネットのりょうがわから6.40メートルのところ、サイドラインとへいこうにひいたライン
 - ・ **サービスコート**
サービスラインとネットにかこまれたエリア
 - ・ **サービスセンターライン**
サービスコートをきんとうにわけけるライン
- ※ ネットちゅうおうのたかさは0.914メートル、りょうはしは1.07メートル